

# クソゲーメーカー徹底解剖

文責：皇帝

## ・はじめに

クソゲーといえば、普通は納期の問題やユーザーとのすれ違いから運悪く生まれてしまった失敗作であり、ゲームメーカーにとっては黒歴史となるものだろう。

しかし、世の中にはクソゲーばかりを出し続けている「クソゲーメーカー」とも呼ぶべきゲーム会社が存在している。筆者のようにクソゲーを好んでプレイする人間からすれば、中古ゲーム屋でゲームを漁るときにもそのメーカーの作品を買っておけばまず間違いない、という安心感のあるありがたい会社であり、ゲームを買うときの指標になってくれている。だが、ここで普通の人は当然の疑問を抱くだろう。

「なぜクソゲーしか出していない会社が潰れないのか」

「なぜクソゲーしか出せないのか」

こうした謎に迫るべく、本稿では現在もしぶとく生き残っているクソゲーメーカーのうち、特につまらないゲームを精力的に世に放っている厳選された企業たちにスポットを当てていく。企業の歴史や代表的なゲーム（クソゲー）をまとめ、ゲーム業界における立ち位置や経営戦略なども絡めて考察する。この記事を読み終わる頃には君もクソゲー博士になっているかもしれない。

## ミニ目次

P55～p63 アイディアファクトリー

P63～p71 システムソフト・アルファー

p71～p77 クロスノーツ